

参考資料②

※第1回地域調整会議配布資料2の修正版

平成28年度病床機能報告結果について

(阿蘇地域分抜粋)

平成29年9月

熊本県健康福祉部

## 目 次

○ 集計対象データ	P 1
○ 調査結果の概要【県計】	P 2
○ 熊本県計	P 7
○ 熊本・上益城地域	P11
○ 宇城地域	P23
○ 有明地域	P27
○ 鹿本地区	P31
○ 菊池地域	P35
○ 阿蘇地域	P39
○ 八代地域	P43
○ 芦北地域	P47
○ 球磨地域	P51
○ 天草地域	P55

## <病床機能報告に係るデータ共有のねらい>

- ・ 地域医療構想調整会議では、毎年度の病床機能報告の結果をはじめとする各種データ等により、各構想区域において不足する病床機能の把握や医療提供体制の構築に向けた進捗状況の確認を進めていきます。
- ・ 各医療機関におかれては、これらのデータ等を参考にするなどにより、地域における自院内の病床機能の相対的位置付けを客観的に把握した上で、病床の機能分化等の自主的な取組みを進めていただくようお願いいたします。

## <集計対象データについて>

① 報告対象医療機関数 (許可病床数)	488 (30,658 床)
② 回答を得た医療機関数 (許可病床数)	485 (30,614 床)
③ 回答率 [②/①] (許可病床数)	99.3% (99.8%)

### 【参考：地域ごとの状況】

地域	① 報告対象医療機関数 (下段:許可病床数)	② 回答を得た医療機関数 (下段:許可病床数)	③ 回答率[②/①] (下段:許可病床数)
熊本・上益城	216	214	99.1%
	15,053	15,015	99.7%
うち、熊本	194	192	99.0%
	13,997	13,959	99.7%
うち、上益城	22	22	100.0%
	1,056	1,056	100.0%
宇城	27	27	100.0%
	1,472	1,472	100.0%
有明	39	38	97.4%
	2,032	2,026	99.7%
鹿本	18	18	100.0%
	827	827	100.0%
菊池	33	33	100.0%
	2,889	2,889	100.0%
阿蘇	13	13	100.0%
	828	828	100.0%
八代	42	42	100.0%
	2,074	2,074	100.0%
芦北	23	23	100.0%
	1,403	1,403	100.0%
球磨	29	29	100.0%
	1,446	1,446	100.0%
天草	48	48	100.0%
	2,634	2,634	100.0%
熊本県計	488	485	99.4%
	30,658	30,614	99.9%

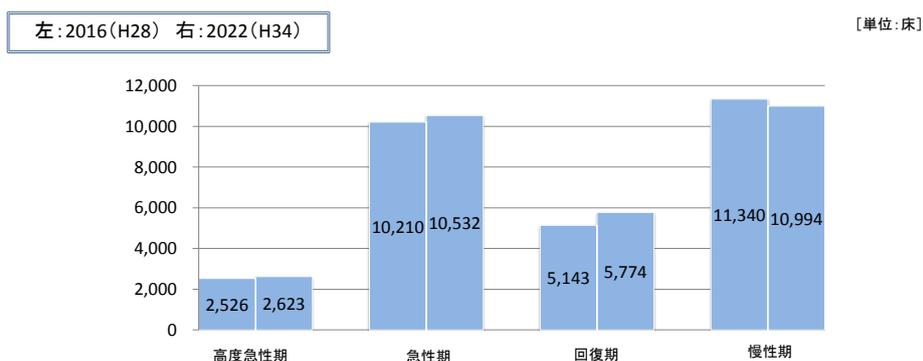
# 調査結果の概要【県計】

## 1 平成28年度病床機能報告について

### (1) 許可病床数

○平成28年度病床機能報告では、高度急性期が2,526床、急性期が10,210床、回復期が5,143床、慢性期が11,340床、合計29,219床

○これに対し、6年後(平成34年)における見込み数は、高度急性期が2,623床(+97床)、急性期が10,532床(+322床)、回復期が5,774床(+631床)、慢性期が10,994床(▲346床)、合計29,923床(+704床)



	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	全体
(参考)2025年病床数の必要量	1,875	6,007	7,050	6,092	21,024

※医療機関所在地ベース。慢性期は、パターンB(熊本、菊池)及び特例(宇城、有明、鹿本、阿蘇、上益城、八代、芦北、球磨、天草)で推計

### (2) 病床稼働率・平均在院日数・許可病床数に対する稼働病床数の割合

- ① 平成28年度病床機能報告における病床稼働率は、高度急性期が89.9%、急性期が72.0%、回復期が76.7%、慢性期が83.6%
- ② 平均在院日数は、高度急性期が9.2日、急性期が13.7日、回復期が42.3日、慢性期が163.3日
- ③ 許可病床数に対する稼働病床数※の割合は、高度急性期が99.6%、急性期が96.0%、回復期が95.5%、慢性期が95.0%  
※稼働病床数は、許可病床数から「過去1年間に一度も入院しなかった病床数」を差し引いて算出したもの

	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	全体
①病床稼働率 [単位:%]	89.9	72.0	76.7	83.6	78.9
(参考)厚生省令の病床数の必要量算定式に用いる病床稼働率[単位:%]	75.0	78.0	90.0	92.0	
②平均在院日数 [単位:日]	9.2	13.7	42.3	163.3	24.7
③許可病床数に対する稼働病床数の割合 [単位:%]	99.6	96.0	95.5	95.0	95.8

## 2 入院前の場所・退院先の場所別の入院患者の状況

(対象期間:平成28年6月の1か月間)

- ① 入院前の場所で最も多いのは、高度急性期・急性期・慢性期では「家庭からの入院」であり、回復期では「院内他病棟からの転棟」
- ② 退院先の場所で最も多いのは、病床機能を問わず「家庭へ退院」

### ①入院前

	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	全体
院内の他病棟からの転棟	20%	7%	39%	34%	15%
家庭からの入院	73%	74%	33%	35%	67%
他の病院、診療所からの転院	4%	7%	22%	25%	9%
介護施設・福祉施設からの入院	2%	4%	4%	6%	4%
院内の出生	1%	7%	1%	0%	4%
その他	0%	1%	1%	0%	1%
計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

### ②退院後

	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	全体
院内の他病棟へ転棟	23%	14%	7%	14%	16%
家庭へ退院	59%	72%	68%	38%	67%
他の病院、診療所へ転院	15%	7%	8%	11%	9%
介護老人保健施設に入所	0%	1%	4%	4%	1%
介護老人福祉施設に入所	0%	1%	2%	4%	1%
社会福祉施設・有料老人ホーム等に入所	1%	2%	7%	5%	2%
終了(死亡退院等)	2%	3%	4%	24%	4%
その他	0%	0%	0%	0%	0%
計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

### 3 在宅医療の実施状況について

- ① 報告があった医療機関のうち、在宅療養(後方)支援病院、在宅療養支援診療所を届け出ている医療機関の割合は25%
- ② 平成28年6月の1か月間で在宅医療を実施した診療所の割合は28%
- ③ 退院後に在宅医療を必要とする患者のうち、在宅医療の実施予定が不明の患者の割合は37%

#### ① 在宅療養(後方)支援病院、在宅療養支援診療所を届け出ている医療機関の割合

	届出	未届出	不明
基準日(平成28年7月1日時点)	25% (122機関)	58% (281機関)	17% (85機関)

#### ② 在宅医療を実施している診療所の割合

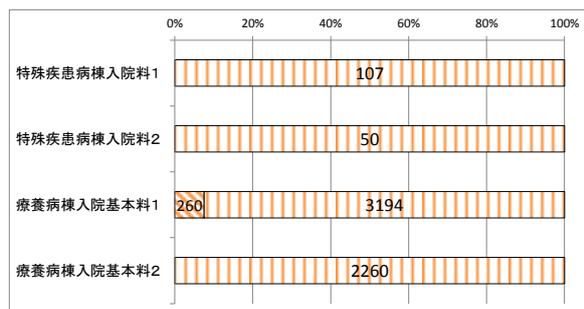
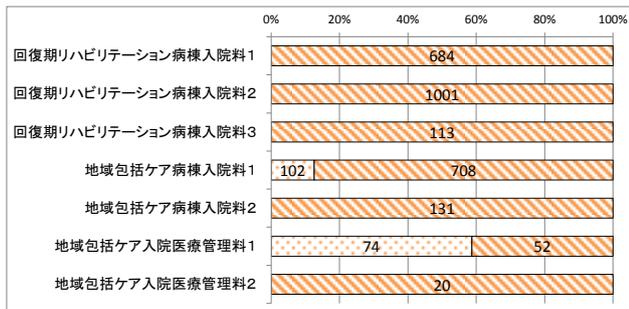
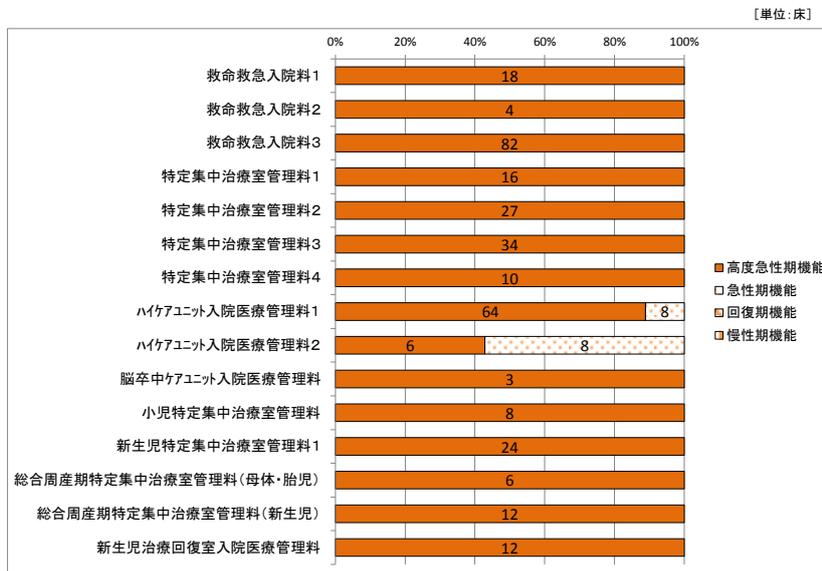
	実施	未実施	未回答
平成28年6月の1か月間	28% (88診療所)	37% (115診療所)	35% (111診療所)

#### ③ 退院後に在宅医療を必要とする患者の状況

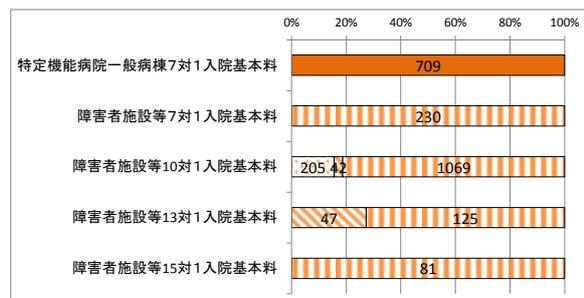
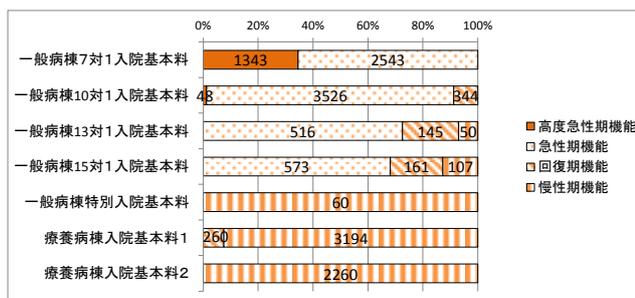
	在宅医療の必要なし	自院が在宅医療を提供予定	他施設が在宅医療を提供予定	不明
平成28年6月の1か月間	89% (21,127人)	4% (868人)	3% (695人)	4% (988人)

## 4 特定入院料等届出病床ごとの病床機能について

- 特定の機能を有する病棟における病床機能報告については、下図のとおり
- 地域包括ケア病棟入院料1では、13%(102床/810床)が急性期、87%(708床/810床)が回復期
- 地域包括ケア病棟入院料2では、100%(131床/131床)が回復期
- 地域包括ケア入院医療管理料1では、59%(74床/126床)が急性期、41%(52床/126床)が回復期
- 地域包括ケア入院医療管理料2では、100%(20床/20床)が回復期

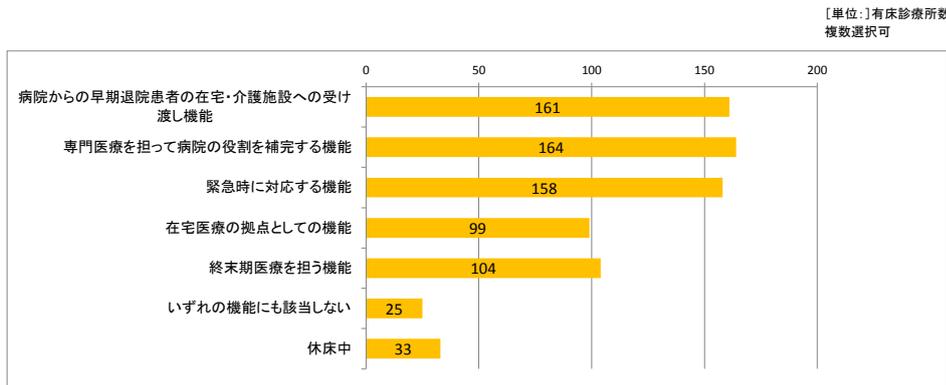


[参考:入院基本料ごとの病床機能について]



## 5 有床診療所の病床の役割

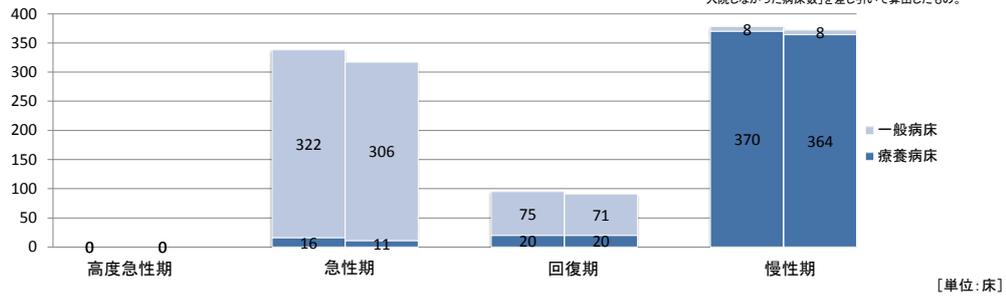
「専門医療を担って病院の役割を補完する機能」、「病院からの早期退院患者の在宅・介護施設への受け渡し機能」、「緊急時に対応する機能」の順に多い。



①報告対象医療機関数 (許可病床数)	13(828床)	②回答を得た医療機関数 (許可病床数)	13(828床)	③回答率 (許可病床数)	100%(100%)
-----------------------	----------	------------------------	----------	-----------------	------------

1 平成28年度病床機能報告における報告状況について

(1) 基準日(平成28年7月1日現在)における医療機能別の許可病床数



区分	高度急性期		急性期		回復期		慢性期		休棟・無回答等		全体	
	許可病床数	稼働病床数	許可病床数	稼働病床数	許可病床数	稼働病床数	許可病床数	稼働病床数	許可病床数	稼働病床数	許可病床数	稼働病床数
一般病床	0	0	322	306	75	71	8	8	3	0	408	385
療養病床	0	0	16	11	20	20	370	364	14	0	420	395
計	0	0	338	317	95	91	378	372	17	0	828	780
稼働病床数/許可病床数[単位: %]	-		93.8%		95.8%		98.4%		0.0%		94.2%	

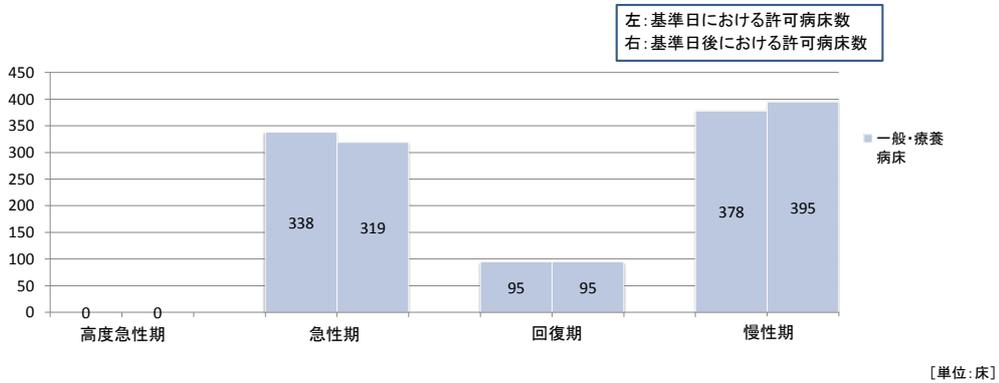
(2) 病床機能別の入院患者数の状況(平成27年7月1日～平成28年6月30日の1年間)

	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	全体 <sup>※</sup>
新規入院患者数(年間)	0	4,507	209	754	5,470
在院患者延べ数(年間)	0	76,453	12,657	122,035	211,145
退院患者数(年間)	0	4,462	212	694	5,368
病床稼働率	-	62.0%	36.5%	88.5%	71.3%
平均在院日数[単位: 日]	-	17.0	60.1	168.6	39.0

※機能未選択は除く。

(参考)厚労省令の必要病床数の必要量算定式に用いる病床稼働率	75.0%	78.0%	90.0%	92.0%
--------------------------------	-------	-------	-------	-------

2 基準日後(平成34年7月1日(6年経過後))における病床数の見通しについて



区分	高度急性期		急性期		回復期		慢性期		休棟・無回答等		全体 <sup>※</sup>	
	許可病床数 [基準日]	許可病床数 [基準日後]	許可病床数 [基準日]	許可病床数 [基準日後]								
一般・療養病床	0	0	338	319	95	95	378	395	17	19	828	828

※機能未選択は除く。

(参考)2025年病床数の必要量	20	119	110	198	-	447
------------------	----	-----	-----	-----	---	-----

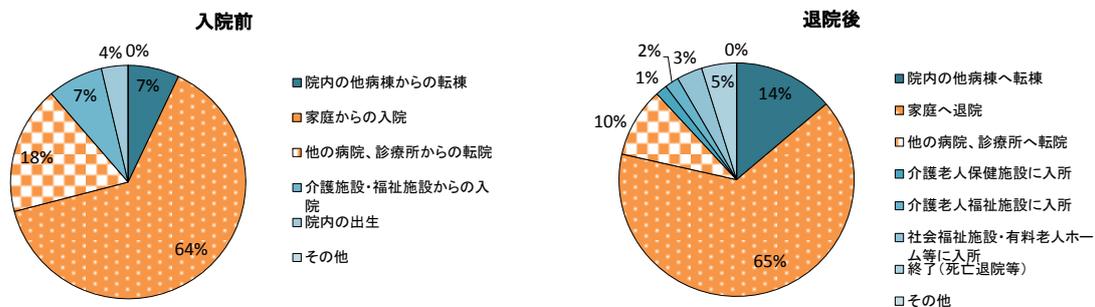
※医療機関所在地ベース  
※慢性期は、パターンB(熊本、菊池)及び特例(宇城、有明、熊本、阿蘇、上益城、八代、芦北、球磨、天草)で推計

### 3 入院前の場所・退院先の場所別の入院患者の状況(平成28年6月の1か月間)

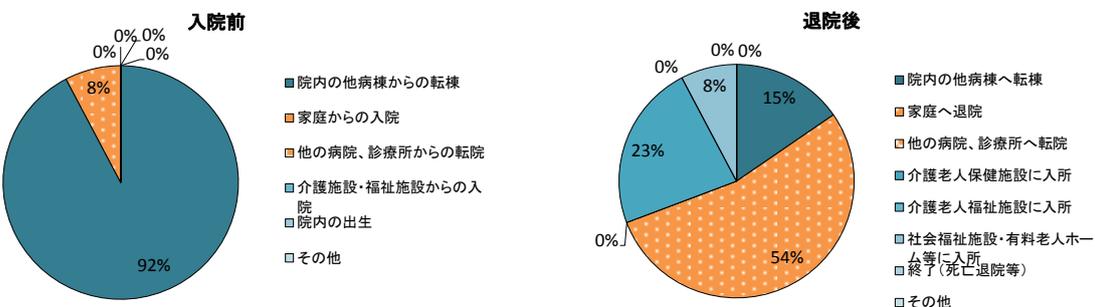
#### (1) 高度急性期

対象なし

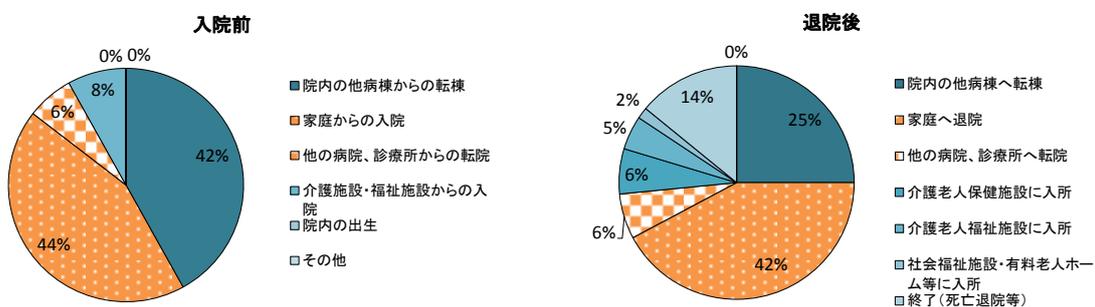
#### (2) 急性期



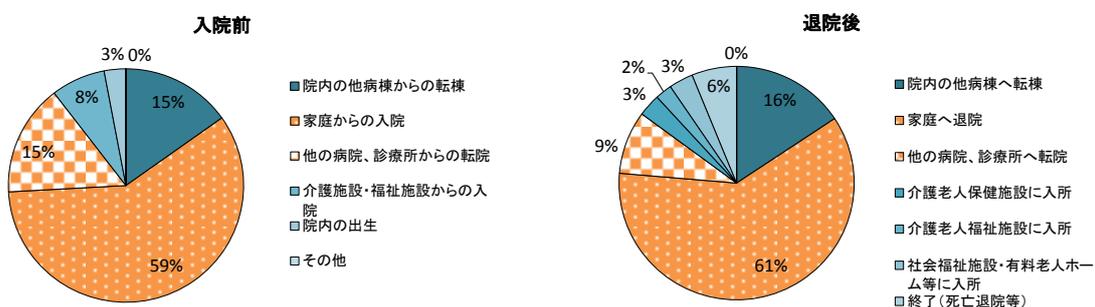
#### (3) 回復期



#### (4) 慢性期

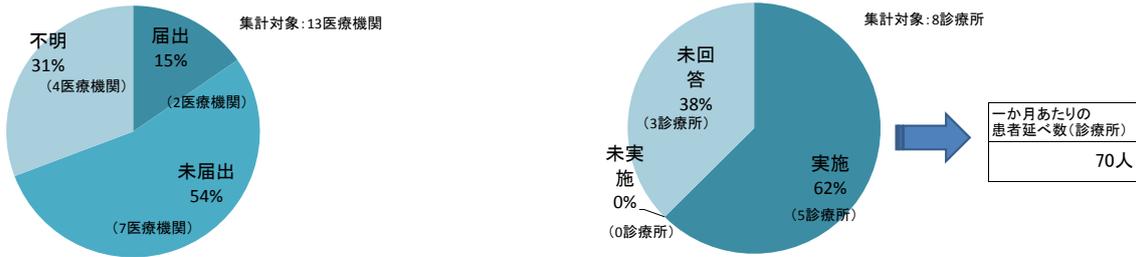


#### (5) 全体

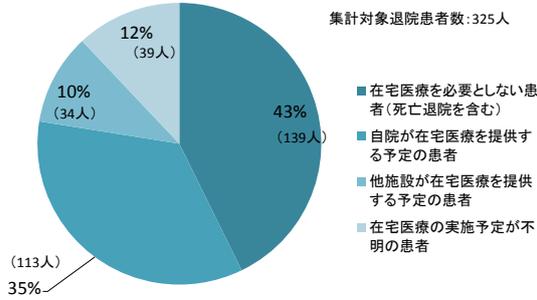


#### 4 在宅医療の実施状況について

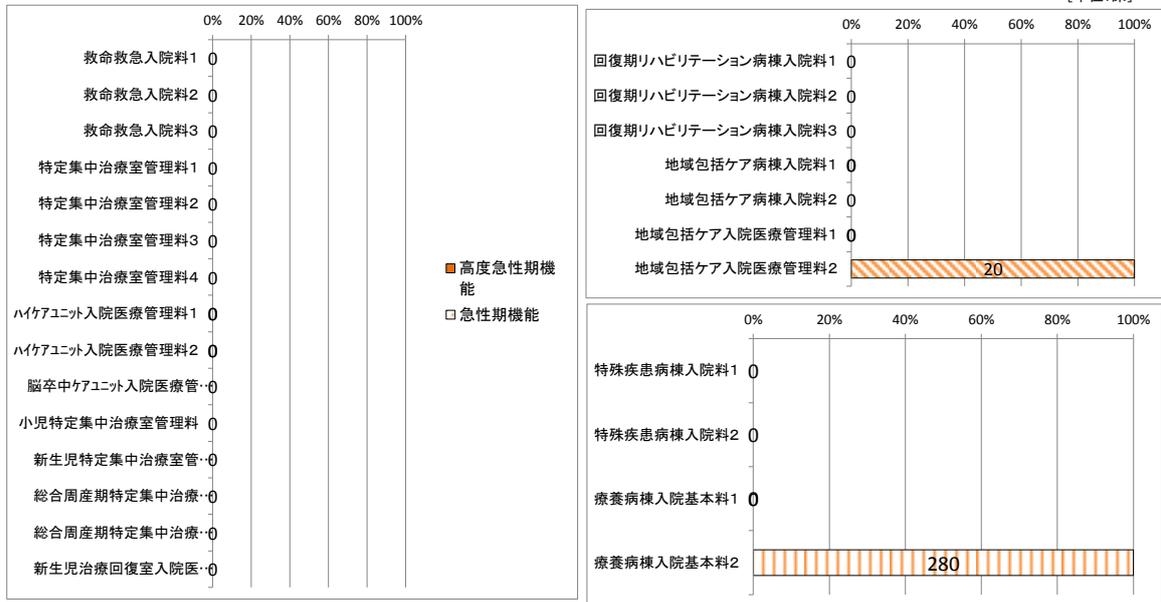
(1) 在宅療養(後方)支援病院、在宅療養支援診療所を届け出ている医療機関の割合 (2) 在宅医療を実施している診療所の割合(平成28年6月の1か月間)



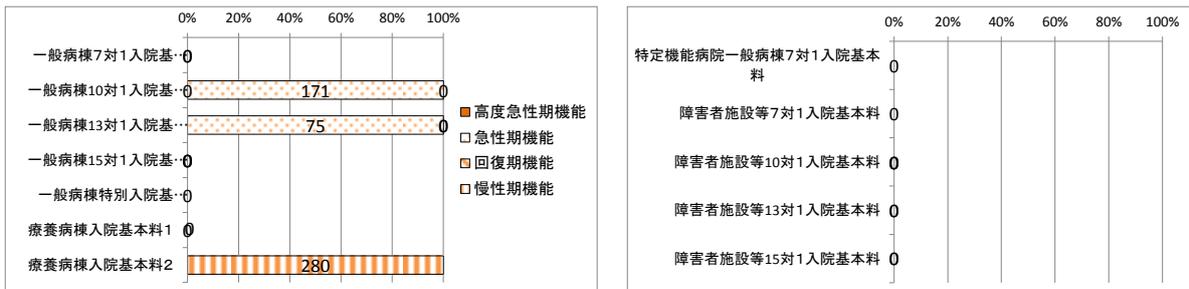
#### 5 退院後に在宅医療を必要とする患者の状況について(平成28年6月の1か月分)



#### 6 特定入院料等届出病床ごとの医療機能について



[参考:入院基本料届出病床ごとの病床機能について]



## 7 有床診療所の病床の役割

[単位:]有床診療所数  
複数選択可

